

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成28年度採択）

中間評価（案）（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
28-3	複数のデータを活用した道路のストック効果の計測技術の再構築	広島大学 准教授 塚井 誠人	B

<研究の概要>

ETC2.0 データから得られる交通状態の質的指標を用いた新たな事故リスクの分析，携帯電話ビッグデータを用いた観光地のトラベルコスト評価，ならびに工業団地等の地価分析を実施して，道路のストック効果算出のための計測技術を再構築する。

<中間評価>

3つのサブテーマ（事故リスクの分析、観光地のトラベルコスト評価、工業団地の地価分析）についてストック効果計測に向けた検討が行われているが、3つのサブテーマ間の関係や全体として達成すべき内容が明確でないことから、指摘事項に留意しながら現行のとおり推進することが妥当であると評価する。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

- 3つのサブテーマ間の関係性を明らかにした上で、全体として達成すべき内容をより明確にしていきたい。課題整理、高度化では具体性を欠いている。次年度の課題である3テーマの総合化について、具体的に取り組む必要がある。
- 3つのストック効果の計測を通じてストック効果の計測手法全体について統一的にとりまとめ、一般性のある結論が得られるようにしていきたい。

※本評価結果は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第34回新道路技術会議において審議したものである。